



・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、施工説明に従い確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工する。
適切な施工がされていないと、不安全の原因となるおそれがあります。
- 本器に表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 指定のLEDカラー演出照明器具専用です。他の器具は接続しない。
- 誤結線や負荷を短絡させない。異常発熱や火災・故障の原因となります。
- 電源を入れたまま配線工事をしない。異常発熱や火災・故障の原因となります。
- 適合電線を使用し、各端子は確実に締め付ける。指定外電線の使用や不十分な結線は機器の異常発熱・火災の原因となり危険です。
- 本器の改造は絶対に行わない。火災・感電・落下の原因となります。
- 壁面に取り付ける。異常発熱や火災・故障などの原因となります。
- カバー側面の通風孔を塞がない。異常発熱や火災・故障などの原因となります。

⚠ 注意

- 一般屋内用です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、可燃性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は 0～35℃で使用ください。指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。
- 信号線のシールドは1か所で制御盤に接地してください。誤動作の原因となります。
- 本器の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。けがの原因となります。

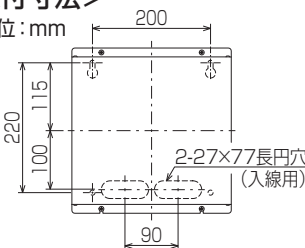
各部のなまえと取付方法

1 取付前の確認

- ・器具質量(約5kg)に十分耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
不備があると器具落下の原因となります。
- ・ネジ(4本)を取り外し、カバーを内器ブロックから取り外す。

<取付寸法>

単位: mm



<適合電線>

- ・AC100V～242V
1.25mm²～2mm²×3C
- ・LEDカラー演出照明器具
対応する器具の仕様図をご参照ください。
- ・コントローラ
EM-IPEE-SB 0.3mm²×2P

2 内器ブロックの取付

- ・壁面の取付ボルト(4箇所:別途)に内器ブロックの取付穴(4箇所)を差し込み、ナット(4個:別途)を確実に締め付ける。
不備があると器具落下の原因となります。

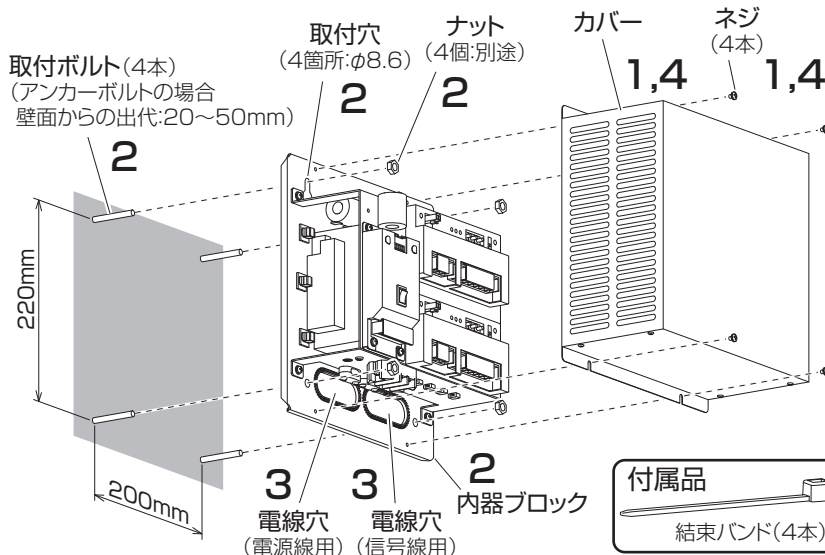
3 電源線・信号線・アース線の接続

- ・電線穴から電源線・信号線を引き込む。
- ・**接続方法**(次ページ)を参照し確実に接続を行う。

4 カバーの取付

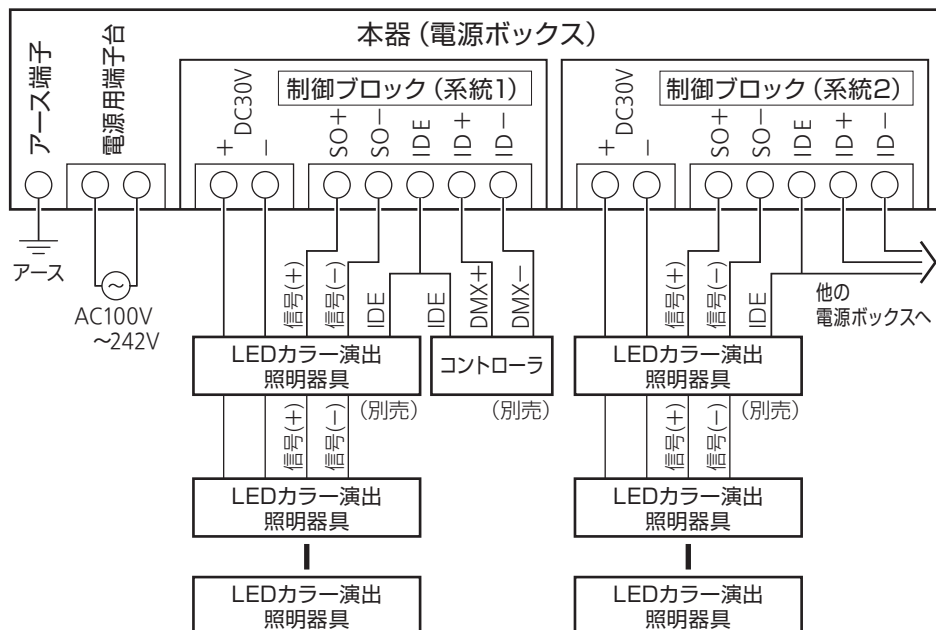
- ・内器ブロックにネジ(4本)でカバーを確実に取り付ける。
不備があるとカバー落下の原因となります。

- ・器具の設定は **システム設定**(4ページ)を参照して行ってください。



接続方法

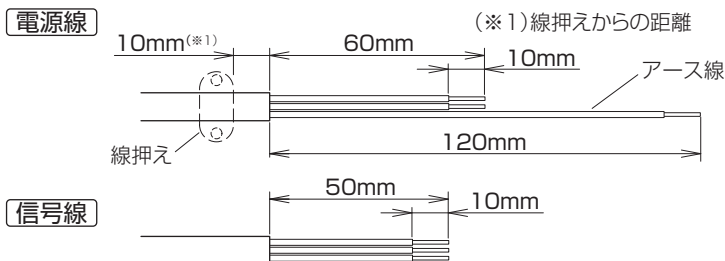
【結線図】



- ・本器とLEDカラー演出照明器具との最大配線長・接続台数は、LEDカラー演出照明器具の図面をご参照ください。
- ・LEDカラー演出照明器具の施工は、必ずLEDカラー演出照明器具の施工説明書をお読みください。

【電線接続】

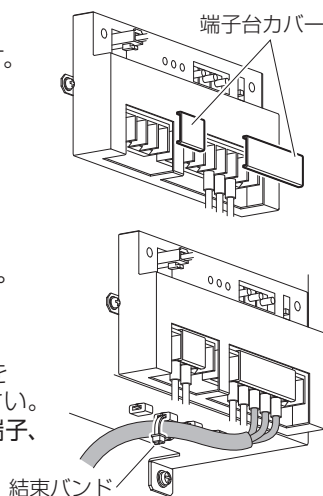
- ・電源線、アース線、信号線を下図のように加工し、先端にR型圧着端子 (M4: 別途) を取り付けてください。



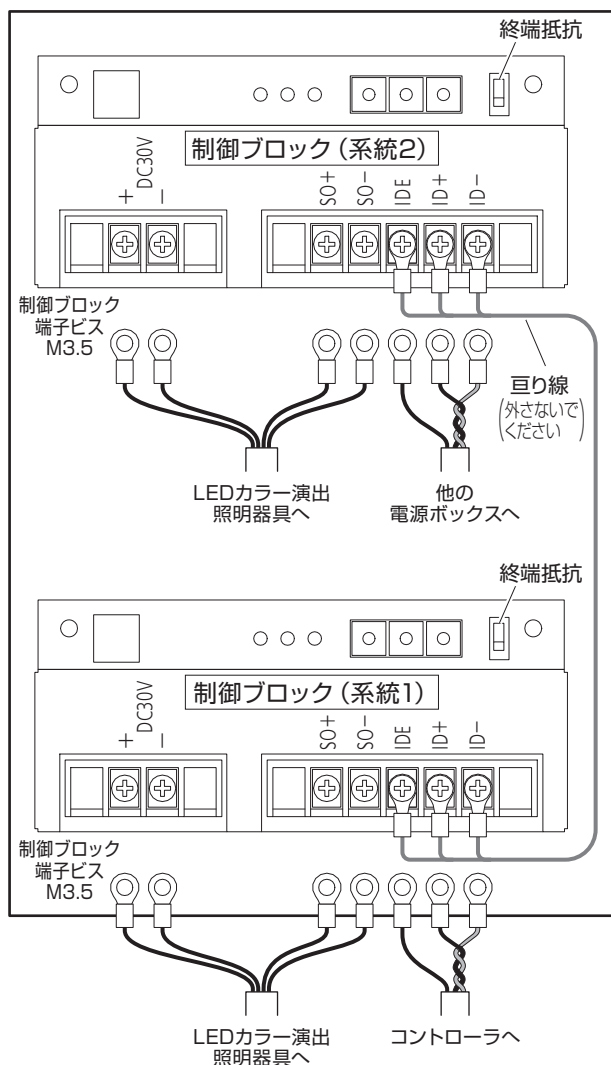
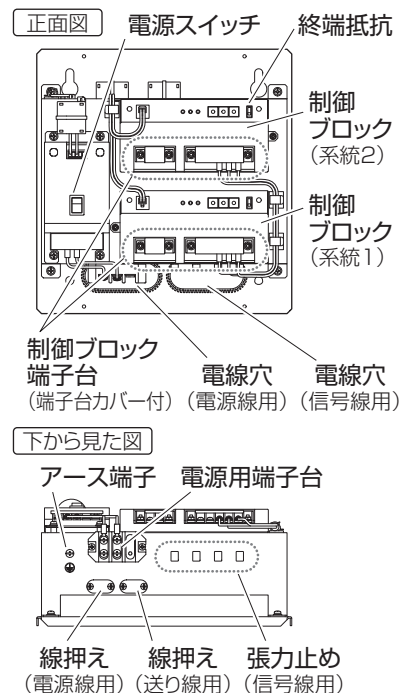
- ・各電線には引っ張り等の荷重のかからないように処理してください。

信号線の接続

- ・接続の前に制御ブロック端子台に取付いている端子台カバーを取り外す。
- ・各信号線を制御ブロック端子に確実に接続する。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- ・接続完了後、制御ブロック端子台に端子台カバーを取り付ける。
不備があると、感電の原因となります。
- ・張力止めに付属の結束バンドを通し、各信号線の外被を固定する。
- ・入力用と送り用の信号線のシールドを絶縁スリーブ等で確実に接続してください。
信号線のシールドをこの器具のアース端子、器具の外郭に接続すると誤動作の原因となります。



【内器ブロック】



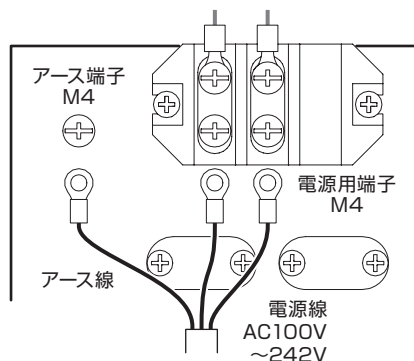
<終端抵抗について>

- ・電源ボックスが1台のシステムの場合
制御ブロック (システム2) の終端抵抗を「ON」にする。
- ・電源ボックスが複数台のシステムの場合
コントローラから最も遠い電源ボックス1台のみ、その電源ボックス内の制御ブロック (システム2) の終端抵抗を「ON」にする。
その他の電源ボックス内の制御ブロックの終端抵抗は「OFF」のままにしてください。

接続方法 (つづき)

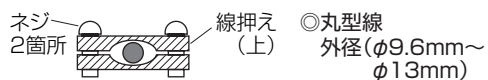
電源線・アース線の接続

- ・電源線を電源用端子に確実に接続する。
接続が不完全な場合、
火災・感電の原因となります。
- ・D種（第三種）接地工事が必要。
アース線をアース端子に確実に接続する。
接続が不完全な場合、
火災・感電の原因となります。
- ・電源線の外被を線押えで固定する。



線押えについて

- ①ネジ2箇所を取り外し、線押え(上)を取り外す。
- ②線押え(上)で電源線の外被部分を押さえる。
- ③ネジ2箇所を締め付け線押え(上)を固定する。



- ・押さえ量は、線外径の1/4程度とすること。
押さえ込みすぎると絶縁破壊による感電の原因となります。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 本器のカバーを濡れた手でさわったり、本器に水をかけたりしない。感電や火災・故障の原因となります。
- 本器の改造は絶対に行わない。火災・感電・落下の原因となります。
- 専門技術者以外はカバーを外さない。火災・故障の原因となります。
- 万が一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない。火災・感電の原因となります。速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。

⚠ 注意

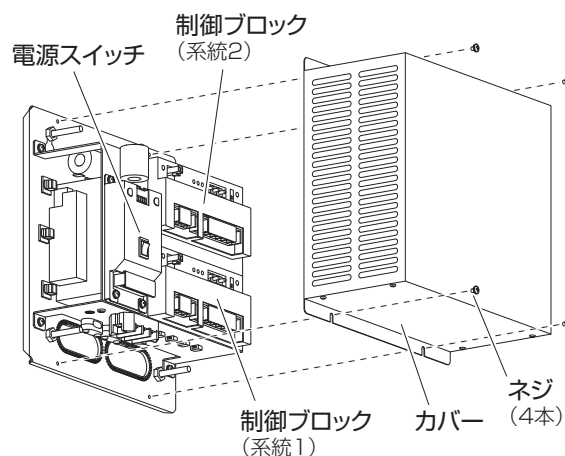
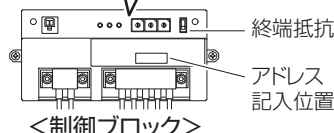
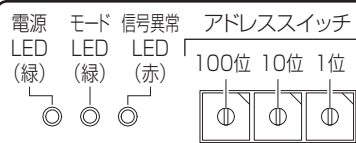
- お手入れの際は必ず電源を切って、しばらくしてから行ってください。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。※:使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

- ・保証について…… この商品の保証期間は3年間です。
- ・保証書について…… 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

仕様

定格入力電圧	AC100V~242V、50/60Hz共用
定格容量	360VA~370VA
定格出力電圧	DC30V
定格出力電流	5.05A×2系統
入力信号形式	DMX512
出力信号形式	LEDカラー演出制御信号
コントローラ	LEDカラー演出照明器具専用コントローラ
適合器具(負荷)	LEDカラー演出照明器具
使用環境	温度0℃~35℃、湿度35%~85%

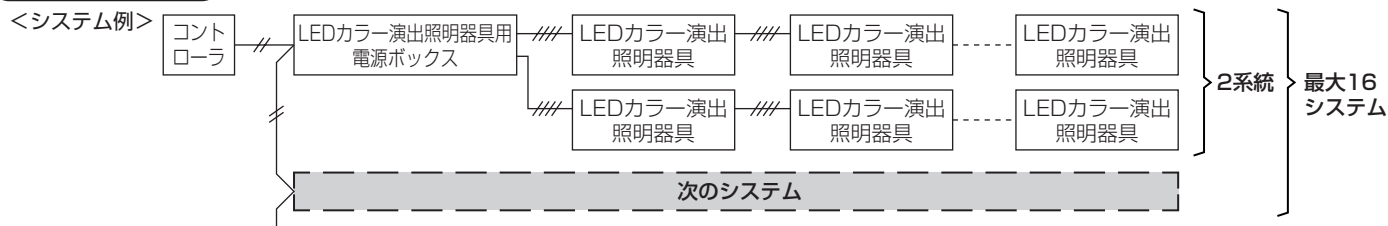


<LEDの点灯表示について>

電源LED(緑)	通電時点灯
モードLED(緑)	通常モード …… 約1秒に1回点滅(1Hz)
	点滅 チェックモード …… 約1秒に2回点滅(2Hz)
	工場用テストモード …… 約1秒に4回点滅(4Hz)
信号異常LED(赤)	DMX信号異常時点灯

システム設定

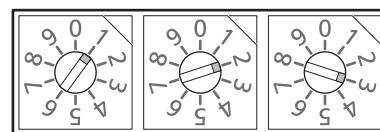
システムについて



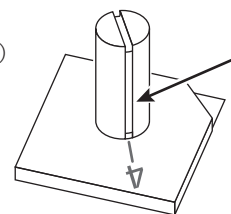
- *本システムは、コントローラから送信されるDMX 512信号により、LEDカラー演出照明器具を制御し、カラー演出を行うシステムです。
- *各色に1チャンネルのデータが必要です。
LEDカラー演出照明器具を制御するのに3チャンネル分（3色分）のデータが必要となります。
- *データは0～255の256段階あり、LEDの照度もデータにしたがい256段階の変化をさせることが可能です。
但し、LEDの特性上低照度時にレベル変化させた場合や、高照度時でもあらくレベル変化させた場合には、照度変化がなめらかに見えない場合がありますのでご注意ください。
- *このシステムでLEDカラー演出照明器具用電源ボックスは、DMX 512信号をコントローラより受信し、設定された任意のアドレス（チャンネル）を先頭としたデータをLEDカラー演出制御信号に変換します。

取り扱い方法

1. アドレス設定
 - *アドレス設定は、アドレススイッチ3個（3桁分）を設定しておこないます。
 - ・アドレススイッチのつまみ部を手でつまむか、小さなマイナスドライバーで回して設定してください。
 - ・アドレス設定を000にすると、001として動作します。
 - ・アドレス設定後、アドレス記入位置（ラベルの枠内）にアドレスを記入してください。
 - ・RGBの3チャンネルで制御される照明器具の場合、制御する3つのデータの「先頭アドレス m」に512を加算した値「m+512」を設定すれば、全器具同色変換となります。
 - 但し、変換できる範囲は「001～477」チャンネルです。（設定範囲は 513～989）（4チャンネルの器具で使用すると、点灯はしますが、同色に点灯しません。）



1 2 3 に設定した例



*切り込みがつまみ部の先端から根元まである方が番号を表します。
左図は 4 を表しています。

2. 電源投入
 - ・結線を確認し、電源スイッチを「入」にして電源を投入します。
 - ・電源LEDの点灯、モードLEDの点滅（1Hz）を確認してください。
 - 信号異常LEDの消灯を確認してください。

チェックモードによるLEDカラー演出照明器具の点灯の確認方法

- *下記の方法でチェックモードにすれば、コントローラがない場合でも、LEDカラー演出照明器具の点灯を確認できます。
- *本機能はRGBの3チャンネルで制御される器具専用のものであり、アーキライン等の4チャンネルで制御される器具には使用できません。（4チャンネルの器具で使用すると、点灯はしますが同色に点灯しません。）

1. アドレスを「000～989」に設定します。
2. 電源を投入します。
 - ・電源LEDの点灯、モードLEDの点滅（1Hz）を確認してください。信号異常LEDはDMX信号が無い場合は点灯しますが、正常にDMX信号があれば消灯しています。
3. アドレスを「990～999」に設定すれば、チェックモードになります。このときモードLEDは2Hzで点滅します。
設定したアドレスとLEDカラー演出照明器具の点灯は下表によります。

990, 995～999	LEDカラー演出照明器具は全器具全色フル点灯（白っぽい色）
991	LEDカラー演出照明器具は全器具赤色フル点灯
992	LEDカラー演出照明器具は全器具緑色フル点灯
993	LEDカラー演出照明器具は全器具青色フル点灯
994	LEDカラー演出照明器具は1台目赤色・2台目緑色・3台目青色・・・赤・緑・青の順にフル点灯を連続する

4. ご使用のアドレスに設定を戻します。
 - ・モードLEDが1Hzで点滅します。通常モードに戻りました。
- *点灯確認が終わったあとは、必ずご使用のアドレスに設定を戻してください。

本器のLED点灯状態が異常な場合

1. 電源LEDが点灯しない……………電源が入っていません。配線を確認してください。
2. モードLEDが点滅しない……………基板が故障している可能性があります。営業所に連絡願います。
モードLEDが4Hzで点滅している……………工場用テストモードになっています。ご使用のアドレスに設定し電源を再投入してください。
3. 信号異常LEDが点灯・点滅している……………操作器からの信号が異常です。配線の確認・操作器の確認をしてください。

LEDカラー演出照明器具が正しく点灯しない場合

1. チェックモードで正常に点灯した場合……………アドレスの設定が間違っている可能性があります。再度確認してください。
2. チェックモードで点灯しなかった場合……………結線間違いの可能性がありま。再度確認してください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル) 【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]